

西伊豆健育会病院

佐藤 仁 (事務部 / 事務)

功 績	医療事務として長年にわたりBLS活動を牽引し、「医療を断らない」理念の実践と浸透に大きく貢献した功績。
推薦者氏名	マネージングディレクター 大友悠平
推薦理由	佐藤氏は、職種の枠を超えて16年間にわたりBLS活動と救急医療を支え、「医療を断らない」という当院の理念を地域と院内に浸透させてきました。その継続的な貢献と模範的な姿勢は理事長賞にふさわしいと考え、推薦いたします。

内 容

佐藤氏は勤続16年を迎え、入職直後からBLS（一次救命処置）委員会に所属し、救命対応に関する知識・技術の習得に努めてきました。その後は委員長を歴任し、長年にわたり院内外でBLSの普及活動を継続し、地域の救命意識向上と病院の信頼醸成に大きく貢献しています。

現在、院内にはBLS講習を担当できるスタッフが4名程おりますが、事務職として講師を務めているのは佐藤氏のみです。その中でも地域へ出向いて実施する講習回数は院内最多であり、ジオパークボランティアへの講習、地域のお祭りでの体験ブース、学校教職員・保護者向け講習、地域住民向け講習など、幅広い世代・対象に対して積極的に活動を続けています。その講義内容や指導力は高く評価されており、仲田院長からも「専門職に引けを取らない講義である」と厚い信頼を得ています。

また、佐藤氏はBLS活動だけでなく、事務当直として救急患者の受け入れ時にも率先してサポートを行い、「医療を断らない」という当院の理念を現場で体現しています。また、現場からはコードブルーではなく佐藤を呼んでほしいという要望もあり医療職・事務職という職種の壁を越え、必要な場面では自ら行動しチーム医療を支える姿勢は、職員の模範となっています。直近の夏には救急外来のCPA患者の対応に入りサポートを行いました。

のちに後期研修医からは、「この病院の救急はスタッフ全員の対応力が高く、チーム力を強く感じた。特に事務職が自然に救急対応を支えている病院は初めて見た」との感想が寄せられており、佐藤氏の日頃の活動がOUR TEAMの文化として病院全体に根付いていることを示しています。

16年間にわたり継続してきたBLS普及活動と、職種の枠を超えて救急医療を支え続ける姿勢は、当院の理念を地域と院内の双方へ広げた顕著な功績であり、理事長賞にふさわしいものと考え、ここに推薦いたします。